

鹿児島も「この街が好き」

市テーマソングで広がる「枚方家族」

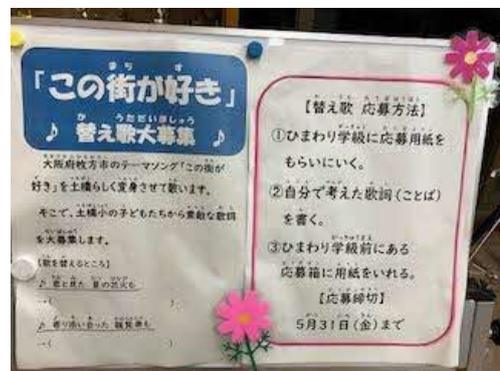
まちへの愛着を育もうと枚方市と市民が共同で制作した市テーマソング「この街が好き」が、遠く離れた鹿児島県日置市の小学校で歌われる。日置市立土橋小学校の先生が、8月16日に開催される土橋校区の夏祭りで児童が合唱するための曲を探していたところ枚方市公式ホームページで発見、「地元愛あふれる歌詞が心に響く」と市に使用の打診があった。これが縁となり「この街が好き～土橋バージョン～」のプロモーション動画を日置市との共同で制作する交流企画が動き出した。

同曲の「土橋バージョン」は、土橋への思いや好きな風景を取り入れようと小学校内でフレーズを公募しアレンジしたもの。動画は市職員が現地に赴き、夏祭りの様子とともに児童の合唱を撮影する。動画には日置市の協力で同市のイメージキャラクター「ひお吉くん」も登場する予定で、枚方市の「ひこぼしくん」に街の名所を紹介するコラボ企画に発展した。

市担当者は「テーマソングを歌ってもらえるなら、みーんな、『枚方家族』。この縁を大切に、日置市と互いの魅力を発信できるような動画をつくりたい」と意気込む。

★ 土橋小学校は創立136年で児童数は32人。毎年、土橋校区夏祭りでは子どもたちによる合唱を披露している。枚方市テーマソングを採用するにあたり、生徒に「土橋らしく変身させよう」と歌詞を公募し決定した(※歌詞別添)。

★ 8月16日開催の「土橋校区夏祭り・花火大会」は毎年約800人の来場を誇る。当日雨天での場合合ステージ発表等は体育館内で行う予定。



▲土橋小学校での公募の様子

★ 土橋校区夏祭り・花火大会には市の職員が実際に赴き、合唱してくれる土橋小学校の子どもたちの笑顔に会いに行く。合唱の様子を取材・撮影し、子どもたちの笑顔に会いに行くことをテーマにした「この街が好き 盆踊りバージョン」のPVをオマージュした動画を制作、SNS等で発信予定。また日置市役所にも協力を依頼し日置市のイメージキャラクター「ひお吉くん」と「ひこぼしくん」のコラボ動画も撮影予定。ひお吉くんに日置市の魅力スポットを紹介してもらい、お互いの公式YouTubeでのコラボを予定。歌が繋いだ日置市との交流をさらに深め、街の魅力を発信していく。



© city hioki hiokichikun

★ 市テーマソング「この街が好き」は、令和元年8月に完成。「河川敷」や「観覧車」、七夕にちなんだ「笹につけた短冊」など、枚方を映し出すいくつもの言葉が優しいメロディーとともにきく人の心を優しく温める楽曲となっている。令和4年度には合唱イベント「1000人で大合唱」の開催や、さらなるPRを目的に挑戦した日本経済新聞社主催「NIKKEI 全国社歌コンテスト2023」で全国1位の「最優秀賞」を受賞し、現在も市内の小学校の給食の時間に流れたり、学校や保育施設の運動会やダンスの時間などに使われたりと、市プロモーションの要として様々な広がりを見せている。

★ 鹿児島県日置市は人口約4万6000人。面積は枚方市の4倍近い253.01km²。「妙円寺詣り」や「流鏝馬」「せっぺとべ」に代表される歴史的な伝統行事と400年の歴史を誇る「薩摩焼」や優れた泉質を誇る「湯之元温泉郷」「吹上温泉郷」など、古の情緒と安らぎに満ちた貴重な資源を数多く有している。



<お問い合わせ>

市長公室 広報プロモーション課 ☎072-841-1258、FAX072-846-5341

このまちが すき ~土橋バージョン~

「はやくおいで」と まねく きみ

いつのひか このまちを

ゆうやけ そまる かせんじき

はなれても わすれないで

どうして きみといると すなおになるの？

「おかえり」と かわらず

せわしない まいにちに つかれてたのに

まってるひとが いることを

ほらきみが わらうから つられてわらっていた

※
きみがいる このまちがすき
とくべつなものは なくても
きみといま すごすじかんが
たからものになつてくから
てれくさいけど「ありがとう」

きみとみた ほたるの ひかり

かたよせあつて つんだ いちご

このむねに いつまでも

【 ※ くりかえし 】

さきにつけた たんぎくに

ラララ ラララ ララララ ラララララ

こどもたちの ねがいごと

ラララ ラララ きみがいて よかった

ぼくら いつも おとなの せなか みてた

こんどは ぼくから わらわせるね

かわらない 土橋を まもっていくため

ぼくたちに できること これから きつとあるから

よろこびも かなしいことも ひとりでは めぐりあえない

このまちを キャンバスにして

それぞれのいろを かさねよう

きみの みらいは どんないろ？